

# 平成30年度実績に係る部局評価書

部局名:サイバーメディアセンター

【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

## 【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		授業支援システムCLEについて、2019年3月後半から学外サーバによるサービスと2019年度中にクラウド化へ移行する計画を策定し実施したことが評価できる。
【研究】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		戦略性が高く意欲的な計画として、NEC 共同研究部門と応用情報システム研究部門の連携により高性能計算/データ分析の研究開発を進めるなど、先進的計算機アーキテクチャや、次世代クラウド技術(AI技術を用いた電力最適化技術、DLUIによるデータ解析技術など)の研究を企業との共同研究部門や協働研究所で推進し、研究成果の社会普及を推進したことが評価できる
【社会貢献】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		キャンパスクラウドの利用拡大を推進して新たに6システムが利用を開始したこと、約2%の冷却効率の向上により、全学的な消費電力削減に貢献していることが評価できる。

## 【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>            常勤教員に占める女性教員の割合について、積極的な採用に努めることで実績を大きく伸ばしていることが評価できる。            また、常勤教員公募に占める国際公募の割合について、前年度に引き続き、100%を達成していることが評価できる。</p>
--